三重県議会議員
いしがき　ともや
石垣 智矢
県政活動報告

智の輪

TOMO-NO-WA

～ 地域の輪が次の時代を創る ～



Vol.3　2022年（令和4年）　春号

編集・発行責任者 / 石垣智矢　住所 / 三重県員弁郡東員町北大社801
TEL・FAX / 0594-41-2477　E-mail / toinman1105@gmail.com

令和4年定例会　令和4年度一般会計予算　総額 8,194億円

（対前年度比４.0%増の過去最大の予算）

令和4年度当初予算 主なポイント

⑴ 新型コロナウイルス感染症対策のさらなる推進

関連予算額 554億円

・県民の命と生活を最優先に、三重県新型コロナウイルス感染症対策大綱に基づく早期の対策と医療提供体制の充実、傷ついた地域経済の再生・活性化に取り組む

⑵ 危機管理体制の強化と防災・減災、県土の強靱化

関連予算額 518億円

・これまでの災害の知見を生かし、ソフト・ハードの両面から防災・減災、県土の強靱化を推進
・災害対応工程管理システムを導入するなど災害即応力を強化し、危機管理体制を充実
・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に推進

⑶ 三重の魅力を生かした観光誘客の推進

関連予算額 24億円

・新型コロナで多大な影響を受けた観光産業の再生に向けて、観光振興予算を前年度対比で倍増
・三重ならではの観光資源をブラッシュアップし、本県への誘客や長期滞在を促進
・インバウンド誘客の回復に向けて、日本政府観光局(JNTO)と連携して効果的なプロモーションを展開

⑷ 地域の活力を高める産業づくり

関連予算額 178億円

・あらゆるチャンネルを活用し、県内外への県産品等の販路拡大を支援
・水産業では、気候変動に対応するため、高水温に強い種苗や新たな養殖技術の開発に取り組む
・成長産業分野、マザー工場化、スマート工場化、県南部地域における地域資源を活用した産業等への投資を支援

⑸ すべての子どもの健やかな育ちの保障

関連予算額 102億円

・保育所の待機児童の解消に向けて、保育士加配に対する補助の拡充と、保育補助者を保育士に育成する取り組みの支援を通じて、保育士確保を強力に推進
・ヤングケアラーの実態を調査するとともに、新たにコーディネーターを配置し、適切な支援につなげる
・安心して学べる教育を推進するため、県立教育支援センターの設置に向けた実証研究を行うとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充

⑹ カーボンニュートラルに向けた取り組みの加速

関連予算額 14億円

・脱炭素社会への対応を成長のチャンスととらえ、県内企業の業態転換や新たな領域への挑戦を支援
・CO2排出量の多い大規模事業所の脱炭素化に向けた取り組みの支援や四日市コンビナートの競争力を強化する取組を推進
・県有施設(警察署、県立学校ほか)の照明のLED化を一気に加速するとともに、再生可能エネルギーの調達を試行的に実施

予算決算常任委員会　決算認定議案にかかる総括質疑

① 子どもの命を守るための取り組みについて

問　本県は、海や川などの自然豊かな遊び場が豊富にある一方で、水難事故件数は令和2年度で33件発生しており、うち18名もの尊い命が失われています。子どもたちが安全に水辺で遊ぶことができる備えや環境整備が必要だと考えますが、コロナ禍での学校現場における遊泳授業および着衣泳の実施状況はどうか。また、ライフジャケットを使用した授業は行われているのか伺います。

答　プールでの遊泳授業は344校中113校が実施、着衣泳は62校の実施にとどまるなど感染症の影響を大きく受ける結果となりました。しかし、教室や体育館での着衣泳授業などの指導は、ほぼ全ての学校で行われています。ライフジャケットの活用状況は、避難訓練や課外授業での着用体験、市町教育委員会がライフジャケット着用の出前講座を行っているところもあります。
　県教育委員会としても、ライフジャケットの有用性を紹介し、市町で取り組んでもらえるよう啓発に努めていきます。

再質問　ライフジャケットの着用体験や知識を身につける授業をさらに推進するためにも、県でライフジャケットを確保し、市町と共有してはどうか。

答　県ですぐに確保することは難しいですが、民間団体から借り入れるなどの対応により、防災目的だけではなく、効果や着用方法を学べる機会づくりに努めていきます。

② 次の親になる世代「ネクスト親世代」への取り組みについて

問　親になること、子どもを持つことについて語り合う「ネクスト親世代トーク」が初めて開催されましたが、その成果や効果はどのようなものか。また、気づきや課題を今後にどう繋げていくのか。

答　知事と宇治山田商業高校２年生の皆さんとの事業でしたが、パートナーとともに行う育児の大切さについて、気づきや理解を得るきっかけとなったことは大きな成果だと感じています。その思いが親になる将来まで維持され、皆さんのより良い子育てに繋げることが重要ですので、今後も引き続き、ネクスト親世代への取り組みを行っていきます。
　また、子どもと直接触れ合う機会が少ない世代でもあることから、今後は親になることや子育てを考える様々なきっかけづくりに努めていきます。

③ みえの親スマイルワークについて

問　みえの親スマイルワークは、子育て中の保護者の方々が感じる孤立や孤独感を減らすための取り組みですが、昨年のコロナ禍ではほとんどが開催されていない状況です。コロナ禍だからこそ必要な事業だと考えますが、感染症の不安を払拭するためにどのような議論がなされ、実施に向けて取り組まれたのか。

答　コロナ禍での開催方法としてオンライン開催も検討しましたが、目的である保護者同士の繋がりをつくること、直接の話し相手が欲しいという保護者からの希望に応えることができないという理由などから、オンライン開催は断念をいたしました。
　今後の取り組み方向は、身近な場所で繋がりをつくること、感染状況などにも柔軟に対応できるよう、小規模での開催を考えています。市町と連携しながら様々な支援に取り組んでいきます。

TOPICS

お茶生産全国3位の三重県 !!「楽しい伊勢茶体験会」を開催 !!

　茶振興議員連盟によるお茶の体験イベントを県議会議事堂ロビーにて開催しました。
　半泥子の会「茶友」の皆さんがたてたお抹茶と、飯南高校美術部さんのお茶ラテアートにより、お茶の魅力と文化を存分に感じることのできる体験会となりました。





三重県議会初 !! 雅楽による議場演奏会 !!

　三重県の芸術・文化に触れる機会づくり、文化の担い手である若者育成の観点から、皇學館大学雅楽部の皆さんによる三重県議会初の雅楽による議場演奏会を開催しました。





皇學館大学雅楽部の皆さん（※写真撮影時のみマスクを外しています）

みえ現場de県議会を開催 !!

　「コロナ禍からの復興に向けて」をテーマに、製造業や飲食・小売業の方々、また首都圏で生活する三重県出身の学生や若者にオンラインで出席していただき、意見交換や生の声をお聞きしました。





石垣ともや一般質問

① 県営都市公園の利用促進および利用者満足度の向上について
② 少子化対策について
③ 無形文化財、無形民俗文化財について

①県営都市公園の利用促進および利用者満足度の向上について



問　三重県には６つの県営都市公園がありますが、公園施設の老朽化や人口減少、多発する自然災害への対応など、都市公園に対する利用者のニーズも多様化しています。
公園機能を最大限に活用し、コロナ禍でも安心して利用できる環境整備が必要だと考えますが、アフターコロナ社会を見据えた利用促進および満足度向上をどのように考えているか。また、屋外テレワークやオープンエアミーティング（屋外会議）の県の考え方についてもお聞かせください。

答　コロナ禍でも安心して利用できるように、全ての公園遊具への抗菌加工、健康遊具の設置を行い、子どもから大人まで楽しめる公園利用につなげるとともに、平成29年度の都市公園法改正によるPark-PFI制度の活用も進めながら利用促進に努めていきます。
また、屋外テレワークやオープンエアミーティングは、熊野灘臨海公園にWi-Fiを導入し、今後はリゾート型のワーケーションを進めていきます。他の公園での通信環境の整備等についても、利用ニーズや費用対効果を踏まえながら検討していきます。

問　都市公園法改正による公園協議会制度が創設されたことにより、岐阜県、静岡県、滋賀県などの近隣県では、公園利用の方向性を示す基本計画が策定されています。
県営都市公園の果たすべき役割、県の方向性を示す基本計画を策定してはどうか。

答　都市公園をより効果的に利用していただくためには、今後は量的な拡大から質的な拡充に転換していく必要があります。
本県でも公園の果たすべき役割や目指すべき方向性をあらためて考える必要性を感じており、ご提案の基本方針はポストコロナ社会の情勢を見極めながら検討していきます。

②少子化対策について

⑴ 合計特殊出生率1.8への実現にむけて

問　我が国の出生数は年々減少を続け、2020年出生数は84万832人と過去最少、本県の出生数も、前年から549人少ない1万1141人と減少しています。
「第二期希望がかなうみえ　子どもスマイルプラン」では、2020年代半ばまでに合計特殊出生率を1.8まで引き上げるとしていますが、結婚や出産を希望する方々がコロナ禍で抱える不安をどのように取り除き、実現に向かわれるのか。

答　不安解消への取り組みは、令和2年度から妊産婦の相談窓口を新たに設置し、より身近に相談ができる仕組みづくりに取り組んでいきます。
また、従来取り組んできた専門家による支援体制整備をさらに拡充させるなど、妊娠・出産を希望する方に寄り添った取り組みを進めていきます。
さらに市町との連携による出会いの機会の創出、不妊治療経験者によるピアサポートの充実、働き方改革の推進など、安心して子どもを産み育てることのできる環境整備を進めていきます。

⑵ 出会いの創出について

問　県民意識調査での「結婚を希望する」と答えた方の割合は80％を超えており、結婚に対する意識が高いことが窺えます。
国の方でも新たな少子化対策の一環として、人工知能によるAI婚活が注目を集めており、すでに19県が導入し成果をあげています。
新しい生活様式の中、本県における今後の出会いの支援をどう形づくるのか。また、出会いや結婚を希望する方が相手を選ぶ一つの選択肢として、AIによる婚活事業の県の考え方を伺います。

答　今後は、市町連携による広域的な出会いの支援に取り組む必要があると考えます。そこで今年度は、県内３地域で新たなプロジェクトチームを立ち上げ、地域の実情にあった企画・運営を県と市町が連携して行います。
結婚実現に向けたセミナーや希望者の交流会等を実施し、コロナ禍で減少した出会いの機会創出につなげていきます。
AIによる婚活事業は、導入した県でのマッチング件数や取り組み事例の情報収集を行い、民間ビジネスにおけるAI活用状況なども参考にしながら調査・研究を進めていきます。

③無形文化財、無形民俗文化財について

問　令和２年7月、三重県文化財保存活用大綱が策定され、国においても文化財保護法の一部が改正されるなど、文化財の保存・活用に対する認識が高まっています。
しかし、過疎化や少子高齢化による担い手不足、新型コロナウイルス感染症の蔓延による中止や規模縮小により、さらなる存続の危機にさらされています。
文化財の現在の状況を確認した上で、次の時代に繋ぐための保存・活用・継承にどう取り組んでいくのか。
また、文化財における担い手確保に向けた取り組みの考え方についてもお聞かせください。

答　県内の令和2年度開催状況は、無形文化財は３件のうち２件が公開中止、無形民俗文化財は行事の中止が20件、規模を縮小しての開催が23件とコロナウイルスの影響を大きく受けている状況です。
県教育委員会としては、市町での文化財保存活用地域計画策定に向けて、取り組みを支援する体制づくりに力を入れていきます。この地域計画は、文化財をどのように守り、継承していくのかを明確に示すものであり、技術講習会や学校教育との連携など、具体的な担い手確保に向けた取り組みにも繋がると考えます。
地域計画策定の意義や期待される効果を市町と共有し、文化財の保存・活用・継承の取り組みを進めていきます。



主な県内視察調査活動報告

◆第15回紀伊半島三県議会交流会議（多気郡大台町）７月21日

紀伊半島三県（三重県、奈良県、和歌山県）の議会議員代表者が一堂に会し、紀伊半島の振興及び発展に資するよう、共通課題について意見交換を行いました。





◆AI配車システムの実証実験による取り組み調査（紀北町）８月５日

公共交通空白地域の解消に向けた取り組みや次世代モビリティ等を活用したAI配車システム導入による実証実験の成果、今後の課題等について調査を行いました。





◆三重交通G スポーツの杜 鈴鹿でのスポーツ施設調査（鈴鹿市）７月28日

県営スポーツ施設の整備状況やスポーツの推進に向けた取り組みについて調査を行いました。





◆自動運転車両の実証実験および最先端技術による観光型サービスの検証（桑名市）２月９日

公共交通における自動運転車両導入に向けた調査を行いました。
また、最先端技術であるXRコンテンツの観光型サービスの検証調査も行いました。







ごあいさつ

三重県議会議員として活躍できる場を与えていただき、早いもので３年が経ちました。
この一年は、一見新知事の誕生、三重県議会議員の定数削減、自民系会派が合併しての新会派「自由民主党」が誕生したりと、県議会の中で様々な物事が大きく動いた一年でもありました。
今後も東員町の皆様、いなべ市の皆様、そして県民の皆様の代表として、県政の場に皆様の声を届けるために誠心誠意、邁進する所存です。
今後も皆様のより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げます。

石垣　智矢

現在の役職 主な所属		
	●総務地域連携デジタル社会推進常任委員会　副委員長	●議会改革推進会議　監事
	●予算決算常任委員会　委員	●広聴広報会議　委員
	●差別解消を目指す条例検討調査特別委員会　委員	●政策担当者会議　委員

石垣ともや 県政報告会2022を開催します。

5月22日(日) 17:00

場所：東員町総合文化センター ひばりホール

弁士／自民党三重県連 参議院選挙区第二支部長　山本 さちこ
弁士／参 議 院 議 員　今井 絵理子


山本 さちこ


今井 絵理子

皆さまのご来場をお待ちしております！！

※感染対策へのご協力をお願いいたします。なお、急遽開催を中止する場合がございます。詳しくは「石垣ともやオフィシャルサイト」にてご確認下さい。

石垣ともや オフィシャル サイト

お気軽にお問い合せ下さい

三重県議会議員 石垣 智矢（ともや）事務所

〒511-0257 三重県員弁郡東員町北大社801番地

TEL/FAX：0594-41-2477　E-mail：toinman1105@gmail.com

Facebookにて日々の活動を配信中→

SHIYUANTOMOYA

URL：ishigaki-tomoya.com